

マツオカコーポレーション

投資花開き来期も増収傾向

3カ国で工場新設・拡張

マツオカコーポレーションを計画する。

マツオカコーポレーションは来期にベトナム、

バンクグラデシユ、ミャンマーで工場の新設や拡張を計画している。今期（2018年3月期）は前期比増収を計画するが、西

バンクグラデシユのT M テキスタイルズ&ゲーム

傾向になる」と話す一方

ンツへは18億円投資し、

で、利益面は算定中とし

今年10月までに拡張、イ

ながらも、中国での労務

ンナーの生産を現状の倍

費などコスト上昇や工場

増となる月間200万点

への投資継続などで「増

の生産を想定。ユニフォ

益は難しい」との見方を

ームなど生産するミャン

示した。

マーのシユエビターへは

来期は、カシユアルパ

5億円投資し、工場を建

ンツなどを縫製するベト

て替え、今年12月までに

ナムのフトマツオカヘ

月間で5万点の生産規模

8億円追加投資し、18年

にする。

6月までに第3工場を新

した資金35億円のうち、

設。月間で18万点の増産

22億円をこれらの工場の

中国が75%、バンクグラ

新設や拡張に活用し、残

現状の生産の割合では

り「新しいプロジェクトに

費やす」（西協常務）。

現状の生産の割合では

中国が75%、バンクグラ

デ

シユが10%、ミャンマー

が10%、ベトナムが5%。

中国への依存度が高い現

状だが、今後はベトナム

をはじめASEANへの

生産シフトを進める。同

時に、新しい国、新しい

アイテム、新しい取引先

上高が41.6億円、経常利益が28億円。大手SPA向けでは「受注の後ずれもあったが販売は堅調に進んだ」（内田修平専務）ことに加え、欧州系スポーツ用品SPAや、その他の国内販売が広がった。

18年3月期は、売上高が前期比9.7%増の56.7億円と増収を計画するも、労務費など中国でのコスト上昇や、工場の新設・拡張によって、営業利益が12.7%減の36億円、経常利益が5.3%減の38億円と、当初想定

の減益の見通し。第3四半期（17年4〜12月）の連結業績は、売上高が41.6億円、経常利益が28億円。大手SPA向けでは「受注の後ずれもあったが販売は堅調に進んだ」（内田修平専務）ことに加え、欧州系スポーツ用品SPAや、その他の国内販売が広がった。

18年3月期は、売上高が前期比9.7%増の56.7億円と増収を計画するも、労務費など中国でのコスト上昇や、工場の新設・拡張によって、営業利益が12.7%減の36億円、経常利益が5.3%減の38億円と、当初想定